

朝礼 校長講話（2月4日）

インフルエンザにかかった人が増え、そんな時に、大勢がこういう限られた空間に入ることはできるだけ避けたいということから、前回の朝礼をなくしました。そんなこともあり、表彰も約1か月分たまっていましたので時間がかかりました。運動の面でがんばった人、文化的な面でがんばった人、たくさんいましたが、共通して言えることは、自分の得意なこと、がんばってきてつけた力をそういう大会でしっかり出せたということがすばらしいと思います。そして、そこに至るまでに、毎日こつこつと努力してきたからこそだと思います。

さて、そんな1月も終わり、昨日は節分でした。多くの子が家で「鬼は外、福は内」と豆まきをしたのでしょうか。豆まきはしなくても、「節分」という言葉は知っていると思います。「節分」は、「節」、これは「季節」の「節」です。つまり、季節を分ける日のことをいいます。季節は、春、夏、秋、冬と四つありますが、昨日の節分は冬と春を区切る日でした。つまり、節分の翌日の今日から、暦の上では春です。ですから今日が「立春」です。もちろん、今日の強い北風がそうであるように、すぐに暖かくはならずはまだまだ寒い日はあると思いますが、そんな中でも、暖かい日差しや春の花が咲く日もあると思います。

そして春といえば、来月には卒業式や修了式という一年の締めくくりとなる日も、だんだん迫ってきました。実は、今日、こうして久しぶりに三つの学年が揃って朝礼をしています。3学年が揃うのは2月18日の朝礼を残すのみとなりました。残り少ない毎日を大切に過ごしてほしいと思います。